

2026. 5. 31

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

（電話：083-924-2113 FAX：083-932-2817

Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）



## 【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

\*各イベントの詳細については、当センターのホームページよりご確認ください。 →



### ★「幼児のためのおはなし会」（毎月第一火曜日）

- 日時：令和8年6月2日（火）7月7日（火）11：00～11：20
- 会場：山口県立山口図書館 第2研修室（こどもとしよしつ 3F）
- 対象：幼児
- 定員：10組程度



### ★令和8年度「学校図書館セミナー【第1回】」

- 日時：令和8年7月31日（金）13：30～16：00
- 会場：山口県教育会館 第5研修室（オンライン併用）
- 講師：講師 宮澤優子 氏（伊勢市教育委員会事務局 教育メディア課 読書推進係 子ども読書活性化担当 主幹）
- 内容：講義 「学校図書館の機能を向上させるためのヒント ～読書センター編～」
- 対象：司書教諭、学校図書館担当教諭、学校司書、研修内容に関心のある教諭、学校図書館担当事務職員、教育委員会指導主事、公立図書館職員 等
- 定員：来館60名（要申込み・先着順）、オンラインは定員なし（要申込み）
- 参加費：無料
- 申込方法：7月24日（金）17：00までに、電子申請（HPの要項をご覧ください。）

[https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/center\\_annai/center\\_annai-28672/](https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/center_annai/center_annai-28672/)

## 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

### <絵本-乳幼児から>

『ごはんたいそう』 五味ヒロミ/作 わたなべあや/絵 フレーベル館 2026.3 ¥900

ねむたいあさは、ごはんたいそうでめをさまそう。さいしょにやってきたのはトマトときゅうり。からだをうごかしたらほかほかして、だんだんげんきがでてきたぞ。ソーセージやバナナ、おにぎりたちもやってきて、みんなでいっしょに「いち、に、さん、し～、ご・は・ん!」。さあ、じゅんぴができたらあさごはんだ。リズムカルなかけ声で朝の生活習慣を楽しく整える食育絵本。

### <絵本-3, 4歳から>

『たまごっこ』 ふるやかおる/文 あずみ虫/絵 アリス館 2026.3 ¥1300

「ぼく、たまごになる」と、たまごにへんしんしてあそぶぼうや。たまごをてのひらにのせてあつためてみると、うまれたのはひよこ。もういっかゝたまごになったぼうやを、こんどはだっこであつためると、うまれたのはきょうりゅう。つぎのたまごは、あつためてもなかなかうまれてなくて…。愛情豊かなふれあいのひとときを描いた、何度でもくり返し楽しめるごっこ遊び絵本。

### <絵本-5, 6歳から>

『かぜのここかぜ』 高島じゅん子/作 黒井健/絵 ひさかたチャイルド 2026.3 ¥1500

かぜのこどもたちはうまれてすぐ、かみさまからそれぞれのやくわりをあたえられる。やくわりをつげられたあとにねむってしまい、じぶんがなにかぜなのかわからなくなった「ここかぜちゃん」は、ねんにいちど「はるいちばん」のかぜをきめるたいかゝりがあるときいて、らいねんのはるいちばんになるためとつくんにすることに。なりたいものに向かって頑張る風の子の成長を描く絵本。

### <絵本-小学校低学年から>

『1がかけたよ』 ウー・ヤーナン/さく リウ・ロンジャ/え 木坂涼/やく 岩崎書店 2026.3 ¥1500

きょう、クマせんせいのクラスでべんきょうするのはすうじの1。みんなでさっそくかいてみると、カニがあるきながらかいたよこむきの1から、アリがかいたちっちゃな1、へびがじぶんのからだでつくった1まで、いろんな1がせいぞろい。つくえのしたでおひるねしているこぶたの1は…。子どもの個性を肯定し、温かく見守る絵本。画家は本作でボローニャ国際絵本原画展入選。

### <絵本-小学校中学年から>

『もしもわたしが』 チャン・ドクヒョン/文 ユン・ミスク/絵 かみやにじ/訳 童心社 2026.3 ¥1800

王さまが国民を見ためて差別しても、老人や障がいのある人たちを国から追いだしても、自分のことではないからとだまっていた「わたし」。しかし、ある日とつぜん兵隊こつかまって…。反ナチ運動家として強制収容所に収容されたドイツ人マルティン・ニーメラー牧師の戦後の演説をもとに、より普遍的な物語に置きかえて、分断の恐ろしさと声を上げることの大切さを伝える絵本。

<読み物ー小学校低学年から>

『名探偵コナン 灰原哀セレクション 裏切りの代償 大きな文字の小学館ジュニア文庫1/3～3/3』 青山剛昌/原作・イラスト 酒井勉/著 読書工房 2026.1 各巻¥3000

帝丹小学校1年生の江戸川コナンのクラスに転入生の灰原哀が入って来た。哀が加わった少年探偵団が、難事件の謎に挑む。22ポイントの文字サイズとフォントで編集した大活字本で、読書に困難のある子どもも読みやすい。コミック『名探偵コナン』のノベライズで『黒ずくめの組織から来た女 大学教授殺人事件』と『トイレに隠した秘密』の2つのエピソードを3分冊で収録。

<読み物ー小学校中学年から>

『窓のまどかさん』 戸森しるこ/作 クリハラタカシ/絵 講談社 2026.3 ¥1600

クラブの練習後に体育館の窓しめをしていた5年生の真凜は、「わたし、まどなのです。」と話す窓のまどかさんにびっくり。まどかさんはしゃべれるし、自由に移動もできる。ある日、音楽の歌のテスト前におなか痛くなった真凜が保健室に行くと、まどかさんの歌声が聞こえてきて…。両者の会話が楽しいユーモアあふれる物語。「不思議なイキモノガタリ」シリーズ第2弾。

<読み物ー小学校高学年から>

『ぼんざい!ぼくらのフシギ島』 辻堂ゆめ/作 主婦の友社 2026.3 ¥1300

人口約2000人の夫志木島に離島留学のためやって来た6年生の涼。自分自身を遅刻常習犯のワルと呼ぶ涼だが、同級生の智也や美野里、さまざまな悩みや秘密を抱える仲間たちとの絆を深めていく。ある朝、親友の智也が行方不明になり…。小学校高学年のための「なぞとき物語シリーズ」として刊行される「ミステリ図書館」の1冊で、児童書と大人の本をつなぐ足がかりになる本。

<読み物ー中学生から>

『サフィヤの戦争』 ヒバ・ヌール・カーン/作 児玉敦子/訳 静山社 2026.3 ¥1900

第二次世界大戦下のパリで、家族でイスラム教の大寺院に暮らし探検家を夢見る少女サフィヤ。ドイツ軍の侵攻により生活は一変し、破壊される街や傷付く人々を目の当たりにする中、父が密かにある活動をしていることを知り…。パリでユダヤ人救出のためのレジスタンス活動に奔走する人々の勇気を描く、史実に基づいた物語。カーネギー賞最終候補等、多くの賞へのノミネート作。

<ノンフィクションー小学校低学年から>

『ぼく、野球がやりたい!』 中村哲郎/原案 山田花菜/文・絵 扶桑社 2026.3 ¥1600

ユニバーサル野球は、年齢や性別、障害のあるなしに関係なく、誰でも楽しめるスポーツ。特別支援学校に通う小学2年生のはるひくんのために研究を重ねた中村さんが、試行錯誤の上たどり着いた答えは…。ルールや用具を工夫して「できない」を「できる」に変えた実話から、みんながスポーツを楽しむためのヒントを学べる絵本。読み聞かせを聞くことができる二次元コードあり。

<ノンフィクションー小学校中学年から>

『世界のまいにちごはんいただきます! アジア編』 阪口克/文・写真 さ・え・ら書房 2026.3 ¥3750

世界の40か国以上を旅して取材を続ける著者が、現地で食べた料理を豊富な写真とともに紹介する。分かりやすいレシピ付きで実際に作って味わうことができる。食育や国際理解にも役立つ1冊。続編の「アフリカ・南北アメリカ・オセアニア・ヨーロッパ編」を含む全2巻。レシピは毎日小学生新聞に連載された「ちょうせん おうちで作ろう 世界のごはん」を加筆、修正したもの。

<ノンフィクションー小学校高学年から>

『空想科学アカデミア1』 柳田理科雄/著 ポプラ社 2026.4 ¥1400

マンガやアニメ、ゲームなどで起こる当たり前のことや一見くだらないと思えることを科学的に追及すると…。科学的な視点や考え方で、さまざまな疑問と科学とのつながりを考えるおもしろさが味わえる。38のテーマで空想と科学の魅力を伝える1冊。『空想科学読本』をはじめとする著書から厳選した内容を全面的に書き直し、大幅な書き下ろしを加えた集大成的シリーズの1作目。

<ノンフィクションー中学生から>

『小学生でもできる言語化』 田丸雅智/著 ダイアモンド社 2026.3 ¥1600

ショートショート作家として活動し、その書き方講座にも取り組む著者が、考えたり感じたりしたことを言葉にする「言語化」とその実践についてわかりやすく伝える。言語化までの3ステップや技の紹介、「もやもやしたこと」「好きなこと」の言語化など、言葉に苦手意識がある人でも安心して取り組める。言葉で表現することを通じて自分や他者に向き合うきっかけにもなる1冊。

<研究書>

『LLブックをすすめる 知的障害・読書に困難がある人たちの豊かな読書環境をめざして』 藤澤和子・野口武悟・吉田くすほみ/著 樹村房 2026.2 ¥2200

『LLブック』の『LL』とは、スウェーデン語のLättlästの略語で、「やさしく読める」という意味である。読むことへの困難さをもつ人たちの読む・知る権利を保障するLLブックの歴史や特徴、表現方法等を、実際に出版されているLLブックのページ写真やイラスト等を使ってわかりやすく説明。公共・学校図書館や関係機関での取り組みや活用事例も紹介。索引あり。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。取書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→  
<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary/>

